

糖質会議および国際交流支援

国内糖質会議

会議名(場所、実施年月)

1. 日本糖質学会年会

- 第17回糖質シンポジウム(京都、1995年7月)
- 第18回糖質シンポジウム(東京、1996年8月)
- 第19回糖質シンポジウム(兵庫、1997年8月)
- 第20回糖質シンポジウム(北海道、1998年7月)
- 第21回糖質シンポジウム(名古屋、2000年7月)
- 第22回糖質シンポジウム(静岡、2001年7月)
- 第23回糖質シンポジウム(横浜、2002年8月)
- 第24回糖質シンポジウム(横浜、2003年7月)
- 第25回糖質シンポジウム(滋賀、2005年7月)
- 第26回糖質シンポジウム(仙台、2006年8月)
- 第27回糖質シンポジウム(福岡、2007年8月)
- 第28回糖質シンポジウム(筑波、2008年8月)
- 第29回糖質シンポジウム(高山、2009年9月)

2. 関西グライコサイエンスフォーラム

- 第1回関西グライコサイエンスフォーラム(大阪、2000年5月)
- 第2回関西グライコサイエンスフォーラム(大阪、2001年5月)
- 第3回関西グライコサイエンスフォーラム(大阪、2002年5月)
- 第4回関西グライコサイエンスフォーラム(大阪、2003年5月)
- 第5回関西グライコサイエンスフォーラム(大阪、2004年5月)
- 第6回関西グライコサイエンスフォーラム(大阪、2005年5月)
- 第7回関西グライコサイエンスフォーラム(大阪、2006年5月)
- 第8回関西グライコサイエンスフォーラム(大阪、2007年5月)
- 第9回関西グライコサイエンスフォーラム(大阪、2008年5月)
- 第10回関西グライコサイエンスフォーラム(大阪、2009年5月)

3. グライコサイエンス若手の会

- 第5回若手糖研究者サマースクール(東京、1998年7月)
- 第6回若手糖研究者サマースクール(東京、1999年7月)
- 第7回グライコサイエンス若手の会(埼玉、2000年11月)
- 第8回グライコサイエンス若手の会(埼玉、2001年9月)
- 第10回グライコサイエンス若手の会(福岡、2003年8月)
- 第11回グライコサイエンス若手の会(宮城、2004年8月)
- 第12回グライコサイエンス若手の会(千葉、2005年8月)
- グライコサイエンス若手フォーラム2006(宮城、2006年8月)
- グライコサイエンス若手フォーラム2007(福岡、2007年8月)
- グライコサイエンス若手フォーラム2008(筑波、2008年8月)

グライコサイエンス若手フォーラム2009（名古屋、2009年8月）

4.糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム

糖鎖科学コンソーシアム出版協賛「未来を拓く糖鎖科学」(金芳堂出版、2005年12月)

第4回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム(東京、2006年10月)

第5回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム(東京、2007年11月)

JCGGミニシンポ「糖鎖生物学研究のオールジャパン体制の確立に向けて」(東京、2008年3月)

第6回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム(東京、2008年12月)

第7回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム(大阪、2009年12月)

5.神経組織プロテオグリカン研究会

第3回研究会「プロテオグリカンによる脳神経系の発達と再生の制御」(愛知、2003年7月)

第5回研究会「神経再生とグリコサミノグリカン」(横浜、2005年7月)

第6回研究会「遺伝子ノックアウト動物を用いたプロテオグリカンの神経系における機能解析」(京都、2006年7月)

6.文部科学省特定領域研究「糖鎖によるタンパク質と分子複合体の機能調節」

第1回夏期シンポジウム(浜松、2003年8月)

第3回公開シンポジウム(東京、2005年1月)

第3回夏期シンポジウム(岐阜、2005年8月)

第4回公開シンポジウム(名古屋、2006年1月)

第4回夏期シンポジウム(浜松、2006年8月)

7.糖鎖科学名古屋拠点フォーラム

糖鎖科学名古屋拠点フォーラム（名古屋、2004年9月）

糖鎖科学名古屋拠点フォーラム（名古屋、2005年9月）

第4回糖鎖科学名古屋拠点講義・フォーラム（名古屋、2006年9月）

糖鎖科学名古屋拠点講義・フォーラム（名古屋、2007年9月）

第6回糖鎖科学名古屋拠点講義・フォーラム（名古屋、2008年9月）

糖鎖科学名古屋拠点講義・フォーラム（名古屋、2009年9月）

糖鎖科学名古屋拠点ジョイントミーティング(名古屋、2010年1月)

8.多糖の未来シンポジウム

第1回多糖の未来シンポジウム（名古屋、2006年11月）

第2回多糖の未来シンポジウム（名古屋、2007年11月）

第3回多糖の未来フォーラム（仙台、2009年11月）

9.東北糖鎖研究会

第1回東北糖鎖研究会（仙台、2007年12月）

第2回東北糖鎖研究会（弘前、2008年8月）

第3回東北糖鎖研究会（長岡、2009年11月）

10. グライコ東京

グライコ東京2007 (Glyco Tokyo 2007) (東京、2007年10月)

グライコ東京2008 (Glyco Tokyo 2008) (平塚、2007年11月)

グライコ東京2009 (Glyco Tokyo 2009) (東京、2009年11月)

11.その他

第2回糖鎖工学研究協議会 (東京、1995年 12月)

第1回「糖鎖遺伝子とその生物機能」シンポジウム (北海道、1996年6月)

第2回「糖鎖遺伝子とその生物機能」シンポジウム (北海道、1996年12月)

第20回 日本基礎老化学会大会 (東京、1997年6月)

第32回 FCCA シンポジウム「糖鎖研究の新しいフロンティアを目指して」(福岡、1997年12月)

第118回日本薬学会年会 (京都、1998年3月)

第4回学術集会「糖鎖医学の新展開」(弘前、2000年11月)

静岡県立大学21世紀COEプログラムシンポジウム「新しい糖鎖研究:ポストゲノム創薬のターゲットとして」(静岡、2003年5月)

愛知県発達障害研究所公開シンポジウム2004「糖鎖が拓く発達障害研究」(愛知、2004年2月)

2004年日米糖質科学合同会議のサテライトシンポジウム1 (ハワイ、2004年11月)

理研井川研究室シンポジウム「糖転移酵素遺伝子の修飾による疾患モデル動物」(埼玉、2005年4月)

生体機能と創薬シンポジウム2006福岡 (福岡、2006年9月)

2007年糖鎖生物学とスフィンゴ生物学(GS2007) (三島、2007年2月)

第27回日本分子腫瘍マーカー研究会 (東京、2007年10月)

第40回日本結合組織学会・第55回マトリックス研究会 合同学術集会 (東京、2008年5月)

国際糖質会議

会議名(場所、実施年月)

1.ゴードン会議

糖脂質とスフィンゴ脂質に関するゴードン会議 (カリフォルニア、1995年1月)

糖脂質とスフィンゴ脂質生物学に関するゴードン会議 (カリフォルニア、1998年1月)

糖脂質とスフィンゴ脂質生物学に関するゴードン会議 (イタリア、2000年5月)

糖鎖生物学に関するゴードン会議 (アメリカ、2001年3月)

糖脂質とスフィンゴ脂質生物学に関するゴードン会議 (アメリカ、2002年1月)

プロテオグリカンに関するゴードン会議 (アメリカ、2002年7月)

糖鎖生物学に関するゴードン会議 (アメリカ、2003年3月)

第11回プロテオグリカンに関するゴードン会議(アメリカ、2004年7月)

糖脂質とスフィンゴ脂質生物学に関するゴードン会議 (兵庫、2004年7月)

糖鎖生物学に関するゴードン会議 (アメリカ、2005年3月)

糖脂質とスフィンゴ脂質生物学に関するゴードン会議 (アメリカ、2006年1月)

第12回プロテオグリカンに関するゴードン会議 (アメリカ、2006年7月)

糖脂質とスフィンゴ脂質生物学に関するゴードン会議 (アメリカ、2008年2月)

炭水化物に関するゴードン会議 (アメリカ、2007年6月)

第13回プロテオグリカンに関するゴードン会議 (アメリカ、2008年7月)

糖鎖生物学に関するゴードン会議（アメリカ、2009年1月）
炭水化物に関するゴードン会議（アメリカ、2009年6月）
細胞間相互作用・細胞接着に関するゴードン会議（アメリカ、2009年6-7月）
糖脂質とスフィンゴ脂質生物学に関するゴードン会議（アメリカ、2010年2月）

2.国際複合糖質シンポジウム

第15回国際複合糖質シンポジウム（東京、1999年8月）
第16回国際複合糖質シンポジウム（オランダ、2001年8月）
第17回国際複合糖質シンポジウム（インド、2003年1月）
第18回国際複合糖質シンポジウム（イタリア、2005年9月）
第19回国際複合糖質シンポジウム（オーストラリア、2007年7月）
第20回国際複合糖質シンポジウム（プエルトリコ、2009年11,12月）

3.糖転移酵素に関する国際シンポジウム

糖転移酵素と細胞コミュニケーションに関する国際シンポジウム（大阪、1997年3月）
第2回糖転移酵素に関する国際シンポジウム（トロント、2000年5月）
第3回糖転移酵素に関する国際シンポジウム（スウェーデン、2002年9月）
第4回糖転移酵素に関する国際シンポジウム（フランス、2004年11月）
第5回糖転移酵素に関する国際シンポジウム（筑波、2006年6月）
第6回糖転移酵素に関する国際シンポジウム（アメリカ、2008年5月）

4.プロテオグリカンに関する国際会議

プロテオグリカンの分子間相互作用に関する国際会議（東京、1999年8月）
2001年度プロテオグリカンに関する国際会議（イギリス、2001年8月）
第3回国際プロテオグリカンシンポジウム（イタリア、2003年9月）
「シグナル伝達とプロテオグリカン」シンポジウム（スウェーデン、2005年9月）
第5回国際プロテオグリカンシンポジウム（ブラジル、2007年8月）
第6回国際プロテオグリカン会議（フランス、2009年9月）

5.シアル酸生物学に関する汎太平洋会議

シアル酸生物学と新規糖鎖化合物に関するシンポジウム（台北、1998年11月）
第3回シアロ糖鎖科学および糖鎖付加に関する環太平洋会議（ゴールドコースト、2002年7月）
第4回シアル酸生物学に関する環太平洋会議（スコットランド、2004年7月）
第5回シアル酸生物学に関する環太平洋会議（三島、2006年8月）
第6回シアロ糖鎖化学会議（ロシア、2008年7月）

6.水谷財団設立記念シンポジウム

財団設立記念国際シンポジウム（東京、1993年3月）
財団設立5周年記念国際糖質科学シンポジウム（東京、1997年12月）
財団設立10周年記念国際糖質科学シンポジウム（東京、2002年12月）
財団設立15周年記念国際糖質科学シンポジウム（東京、2007年10月）

7.その他

ハドソン賞シンポジウム（カリフォルニア、1995年4月）

第15回 国際神経化学会議サテライトシンポジウム (浜松、1995年6月、)
第15回 国際神経化学会議ワークショップ5 (京都、1995年7月、)
日蘭修好400年記念シンポジウム「糖質科学最近の進歩」(東京、2000年4月)
エンドグリコシダーゼを用いた糖鎖工学シンポジウム (京都、2000年10月)
糖鎖生物学シンポジウム、パシフィック2000 (ハワイ、2000年12月)
糖鎖生物学シンポジウム、パシフィック2005 (ハワイ、2005年9月)
タンパク質輸送、糖鎖付加および健康に関する国際シンポジウム (スイス、2001年5月)
第2回IUPAC甘味物質に関する国際シンポジウム(広島、2001年11月)
第1回多発性遺伝的外骨腫(MHE)に関するカンファレンス(アリゾナ、2002年10月)
第2回多発性遺伝的外骨腫(MHE)に関するカンファレンス(ヒューストン、2005年11月)
ゲノムを越えた糖鎖生物学の新展望 (北京、2002年10月)
ウイルスと糖鎖(スウェーデン、2003年6月)
第9回有機科学の展望に関する京都会議「有機化学の新展開」(京都、2003年11月)
糖鎖神経生物学のサテライト会議(台北、2004年2月)
第21回国際レクチン会議(葉山、2004年5月)
第1回札幌スフィンゴ脂質国際シンポジウム(札幌、2004年7月)
第2回日蘭糖鎖生物ワークショップ(オランダ、2005年4月)
第6回炭水化物糖鎖工学会議(スペイン、2005年4月)
第13回欧州炭水化物シンポジウム(スロバキア、2005年8月)
「糖-タンパク相互作用研究の半世紀」シンポジウム(イスラエル、2005年11月)
国際シンポジウム「タンパク質、脂質上糖鎖の機能」(インド、2006年2月)
第23回国際炭水化物シンポジウム(ICS2006)(カナダ、2006年7月)
IUPAC天然物国際会議札幌ポストシンポジウム (札幌、2006年7月)
IUBMB2006サテライトシンポジウム「グライコマトリックス国際会議」 (淡路、2006年6月)
ハラタマ ワークショップ2006「持続可能な社会をめざす化学、化学技術、ならびにバイオテクノロジー」
(淡路、2006年10月)
病態におけるバイオインフォマティクスとバイオマーカーに関する会議(アメリカ、2006年9月)
第13回国際免疫学会議、ワークショップ「糖鎖生物と炎症」(ブラジル、2007年8月)
第7回国際ヒアルロン酸会議(アメリカ、2007年4月)
FEBS上級講座「マトリクス病理生物学、シグナル伝達と分子標的」(ギリシャ、2007年5月)
グライコミックス:ガン細胞の挙動における新しい視点(札幌、2007年7月)
糖鎖生物化学に関する国際会議(東京、2008年12月)
第67回ハーデン会議 (イギリス、2009年3,4月)
JSPS(HGPI)-JST-NEDO国際シンポジウム「グライコミックスによるガン細胞・バイオマーカー研究の新展開」
(鳥羽、2009年3月)
FEBS-MPST 上級講座 (ギリシャ、2009年7月)
第8回炭水化物生物工学会議 (イタリア、2009年5月)
国際学会「コンビナトリアルケミストリーとケミカルバイオロジー:創薬の新しいパラダイムに向けて」(大
阪、2009年9月)
比較発生生物学とその医工学の応用に関する日本・オーストリア2国間セミナー (オーストリア、2009年9
月)
第8回国際ヒアルロン酸会議 (京都、2010年6月)
第1回ACGG会議(筑波、2009年10月)
第20回糖鎖生物学合同会議 / 日独糖鎖生物学研究者会議 (ドイツ、2009年11月)